

タイトル:「歴史的観点から見たサハラ以南アフリカの農業と文化(2)」平成 27 年度第 2 回研究会

日時:平成 27 年 10 月 25 日(日曜日)午後 1 時 30 分より午後 7 時 30 分

会場:AA 研小会議室(302)

本研究会においては、まず池上甲一（近畿大学）が「なぜアフリカの土地はねらわれるのか：土地収奪と新植民地主義」と題して報告した。その後、本共同利用・共同研究課題の成果出版物である『食と農のアフリカ史（仮題）』の総説 3 章（第 1 章「アフリカの食の見取り図を求めて」、第 2 章「アフリカの作物」、第 3 章「アフリカ農業史研究の手法」）について、出席者全員で内容の検討を行った。

\*当報告の内容は、それぞれの著者の著作物です。Copyrighted materials of the authors.